

平成30年度予算編成方針

平成29年7月25日

区長 決定

I 区を取り巻く環境

我が国経済は、緩やかな回復基調が続いています。しかし、国の税収は7年ぶりに前年度実績を下回る見込みとなり、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に注意が必要です。

国においては、「一億総活躍社会」の実現に向け、夢をつむぐ子育て支援等の新・三本の矢を成長戦略とする「ニッポン一億総活躍プラン」を実行しています。

東京都においては、「新しい東京」をつくるため、誰もがいきいきと生活できる、活躍できる都市「ダイバーシティ」などの3つのシティの実現や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京2020大会」という。)の成功に向けた取組を掲げた「2020年に向けた実行プラン」に基づいた施策に取り組んでいます。

区は、区民に最も身近な基礎自治体として、誰もが将来にわたって安全・安心して暮らし続けられるよう、将来課題を先取りした積極的・戦略的な政策の立案、実施及び見直しにより、迅速に対応していく必要があります。

II 財政の見通しと予算編成の目標

区の人口は、平成29年7月1日現在で約25万2,000人となっており、年少、生産年齢及び老年人口のいずれの世代においても増加傾向にあり、平成39年には30万人を突破する見通しです。また、平成27年国勢調査による昼間人口は94万人を超え、過去最多となりました。

歳入の見通しについては、景気の動向に留意が必要なものの、歳入の根幹を成す特別区民税が人口の増加等により堅調な状況にあり、今後も安定的に推移する見込みです。

歳出においては、子ども、高齢者、障害者、外国人などに向けた施策の充実等、人口増に伴う様々な行政需要の増加が見込まれます。こうした中においても、積極的に必要な施策を推進するとともに、首都直下地震の発災に備え、震災復興基金1,000億円の確保に向け着実に積立てを行う必要があります。そのためにも、これまで以上に不断の内部努力を徹底し、積極的な区政運営を支える財政基盤を堅持していきます。

平成30年度は、港区基本計画(後期3年)の初年度です。見直し方針に掲げる、東京2020大会や更にその先の将来を見据え、区民一人ひとりが地域でいきいきと安心して暮らし続けられる「地域共生社会」の実現に向けて、これまで以上に取組を加速します。

予算編成においては、港区財政運営方針に掲げる3つの基本方針に基づき、将来を見据えた港区ならではの政策実現に向け、果敢に挑戦していきます。

これらを踏まえ、平成30年度予算は、

地域共生社会をめざして、安全・安心を基盤に、活力と笑顔あふれる港区の未来へ大きく踏み出す
予算

として、編成します。

III 予算編成の基本方針

予算編成に当たり、施政方針に掲げる取組と計画計上事業に、予算を優先的に配分することとし、次の事項を基本方針として取り組むこととします。

- 1 施政方針で示した3つの区政運営の基本的な考え方にに基づき、施政方針と港区基本計画(後期3年)に掲げる取組を確実に実施し、「区民の誰もが安全・安心に、夢と希望を持って暮らせる躍動感に満ちた活力ある港区」、「区民一人ひとりが誇りに思える成熟した国際都市」を実現します。
- 2 港区政 70 周年記念事業で培った行政、区民、民間、全国各地域の「4つの力」を有機的に組み合わせた「参画と協働」を推進し、各部門の主体性を最大限に発揮した区民生活のすみずみまで目の行き届いた、港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。
- 3 予算要求の段階から、全庁一丸となり働きやすい職場づくりを念頭に置き、徹底した業務内容や手法の見直しにより、業務の効率化に向け取組を推進します。
- 4 震災復興基金 1,000 億円確保に向けた着実な積立てや今後の人口増に伴う施設需要に対応するため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、事業のスクラップアンドビルド及び人件費、物件費等の経常的経費の節減など不断の内部努力を徹底します。

IV 予算編成の重点施策

予算編成に当たり、職員一人ひとりが各部門の抱える課題を認識し、その課題解決に向け挑戦する姿勢で、次の事項を重点施策として取り組むこととします。

- 1 あらゆる人が安全・安心に過ごせる快適でにぎわいあるまちへの取組
 - (1) 女性、高齢者、障害者、外国人の視点も踏まえた災害対策の強化、昼間人口や来街者の増加を見据え地域と連携した帰宅困難者対策の強化
 - (2) 電線類地中化など快適で過ごしやすいバリアフリーの更なる推進、地域と一体となったタバコルール・客引き防止・落書き対策などマナー・ルールの徹底、緑と水の創出や魅力ある景観形成などによる周辺環境と調和したまちづくりの推進
 - (3) 町会・自治会や新たな協働の担い手の支援の強化、地域の特徴を捉えた商店街振興、シティプロモーションの積極的な推進及び観光客受入体制の強化
- 2 全ての子どもたちを健やかに育むまちへの取組
 - (1) 保育定員の拡大、障害児保育の拡充や在宅子育て支援の強化、乳幼児健診の充実など、安心して産み、育てられる切れ目ない支援の強化
 - (2) 子どもの未来応援施策、総合的な子育て支援拠点の整備など様々な課題を抱える家庭・子どもの支援の強化
 - (3) 児童・生徒数の増加に対応した教育環境の整備など一人ひとりの個性を伸ばし可能性を広げる教育の充実
- 3 誰もが健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちへの取組
 - (1) がん在宅緩和ケア支援センターを拠点としたがん対策の推進、健診の充実など働き盛り世代の健康をトータルで守る取組の充実
 - (2) 東京 2020 大会に向けた港区ならではの文化プログラムの推進、障害者スポーツの振興
 - (3) 地域包括ケアシステムの全区展開をはじめ、高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための取組の充実
 - (4) 障害者の就労支援やグループホームの整備など社会参加や生活の場の確保の充実
 - (5) 文化、価値観等の多様性、人格、個性など人権を互いに尊重し、支え合う共生社会づくりの推進